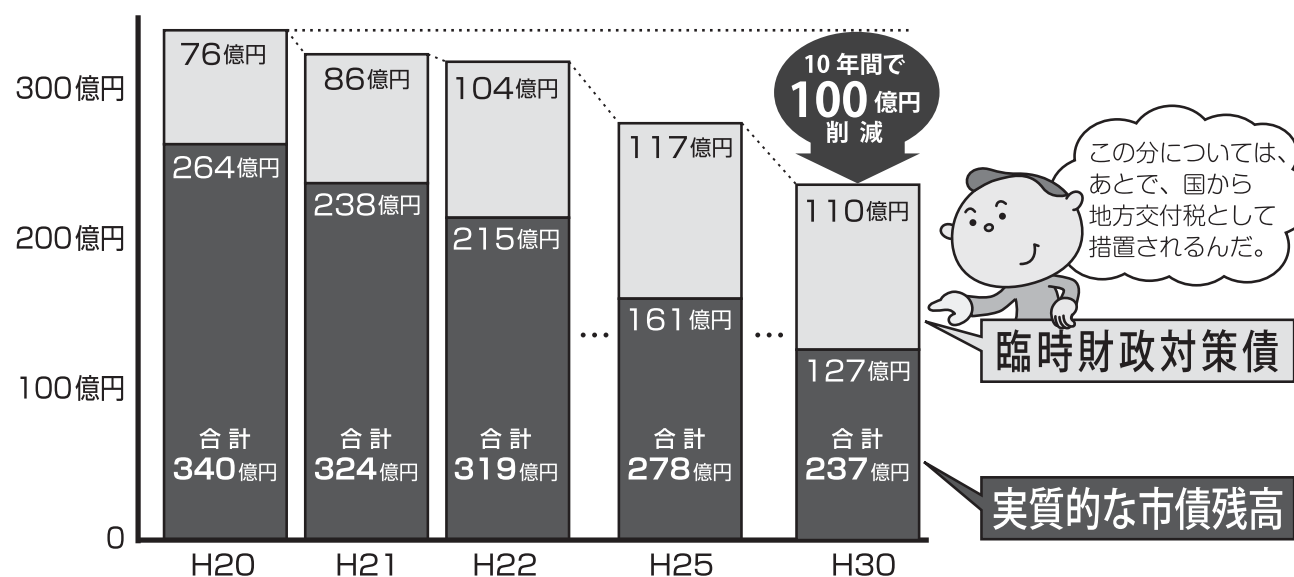


市債残高の推移（一般会計）



臨時財政対策債って

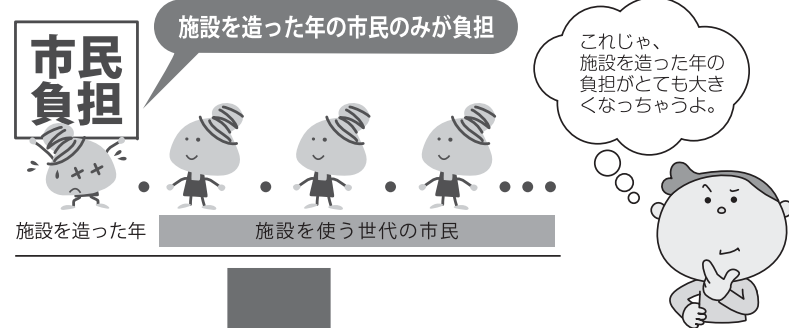
国から市に分配する地方交付税が足りないため、その不足する金額の一部を、いったん市で借金をしてまかっています。この借金の返済は、全額地方交付税で返却されるため、実質的には地方交付税に代わる財源です。

実質的な市債残高って

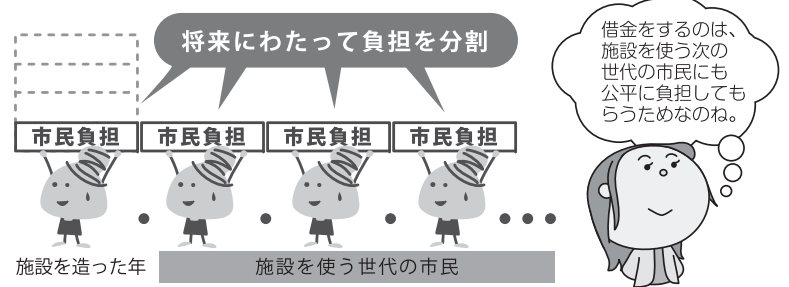
市債とは、道路や公園、学校などの公共施設を整備するときに、その財源として市がする借金のことです。臨時財政対策債が実質的な地方交付税であることから、市債残高から臨時財政対策債を除いた額となります。

どうして借金が必要なの？

借金をしないで施設整備などをすると…



借金をすることで…



現在、借金はどのくらいあるの？

市の借金のことを市債と言います。市債は、公共施設や道路などを整備する場合に借入れます。公共施設の整備などには、一時的にたくさんのお金が必要になります。そのすべてを施設を造った年の収入で賄うと、必要な市民サービスができなくなってしまいます。そのため、市民が長い間利用する公共施設などを整備する場合には、市債を活用して「分

割払い」にし、施設を使う次の世代の市民にも負担していただくことで公平性を図っています。

平成20年度末の市債残高は、一般会計で340億円、市民一人あたりに換算すると約63万円になります。近年は返済する以上に借金をしないよう市債の借入額を抑えているため、市債残高は、平成18年度をピークに今後10年間で、約100億円を減らす計画です。



「今、手を打たなければ、最低限必要な市民サービスができなくなる。」という危機感から、平成18年に『高島市財政再建計画』を策定し、中期的な財政の見通しとその対策を示すとともに、具体的な事務事業などを見直すための方針となる『高島市経営改革プラン』を策定し、これまで行財政全般にわたって計画的な見直しを進めてきました。

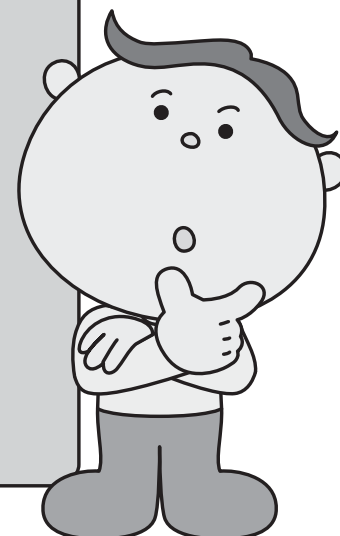
しかし、長引く景気の低迷などから市税収入が大幅に減少するなど、市の財政状況は依然として厳しい状況に変わりはありません。

市では毎年、予算や決算について公表し、皆さんが納められた税金がどのように使われているのかお知らせしていますが、今回は、現在の市の財政状況についてお知らせします。

全国の自治体の多くが今、厳しい財政状況におかれています。中には、財政破綻したことにより、財政再建団体として国の管理下におかれている自治体や、財政悪化により病院や市民ホールなどの施設閉鎖を迫られる自治体なども出ています。

市が財政難に陥ると、市民生活に大変大きな影響を与えることになるため、高島市も厳しい財政状況ではありますが、歳出の削減や可能な限りの財源を確保し、市民サービスが低下しないよう努めています。

たかしまの財政は大丈夫？



どうなの？ たかしまの財政状況